

研究活動報告

『筑波大学先史学・考古学研究』第22号発刊

考古学実習（茨城県 かすみがうら市・野中古墳群第1号墳）

常木 晃, 荒友里子, 大村冬樹 (期間: 2011年12月7日 - 11日)

先史学実習（栃木県 佐野市・山菅石灰焼成窯）

三宅 裕, 中村真衣子, 増森海笑 D. (期間: 2011年11月9日 - 14日)

川西 宏幸 Preliminary Report Akoris 2010 (共編著). 『東国の地域考古学』(編著).

常木 晃 イラン, アルサンジャン遺跡の発掘調査. 「新石器時代の巨大集落—シリア, テル・エル・ケルク遺跡の2010年度調査—」『平成22年度考古学が語る古代オリエント』, 「口絵」解説: テル・エル・ケルク出土の連続人物像が描かれた彩文土器片」『筑波大学先史学・考古学研究』22. 「西アジア新石器時代人の生と死: 最新の筑波大学シリア国ケルク遺跡発掘調査より」『ORIENTE』43. 「高校地理・歴史科教育における考古学・人類学の役割」『学術の動向』, 「歴史認識と考古学」『学術の動向』, 『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』(編著). A Glimpse of Human Life from the Neolithic Cemetery at Tell el-Kerkh, Northwest Syria. *Documenta Praehistorica*. Tell el-Kerkh 2009. *Chronique Archéologique en Syrie: Vol. 5* (共著). 「新石器時代の巨大集落—シリア, テル・エル・ケルク遺跡2010年発掘調査—」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会発表要旨集』(共著). Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Eighth Working Season- : 5. Sondage and Surface Research at Tell Ghanem al-Ali. *Al-Rāfidān*, 32 (共著).

三宅 裕 トルコ, ハッサンケイフ・ホユック遺跡の発掘調査. 2009 Salat Camii Yanı Kazıları (Diyarbakır İli, Bismil İlçesi). 32. Kazı Sonuçları Toplantısı 3. Cilt. 「栃木県佐野市嘉多山公園石灰焼成窯の測量調査」『筑波大学先史学・考古学研究』22 (共著). 「乳の流れる地「西アジア」—乳利用と乳製品の起源を探る」『古代オリエント博物館友の会講演会 第6回古代オリエントのモノ語り』(口頭発表). 33. Uluslararası Kazı, Araştırma ve Arkeometri Sempozyumu, Malatya, Diyarbakır İli, Salat Camii Yanı Kazısı (口頭発表). Neolithic Burials at Hasakeyf höyük and Salat Camii Yanı, *Burial Customs in Prehistoric West Asia* (口頭発表).

谷口 陽子 中国, 新疆ウイグル自治区キジル千仏洞壁画群の技法調査 (科学研究費). 油彩技法の起源に関する東西壁画の技法材料の比較研究 (科学研究費). 「石灰石作実験から得られた石灰 (葛生産石灰および貝灰) の特性について」『筑波大学先史学・考古学研究』22. 「壁画保存の方法の現状と課題 水戸市押田古墳の線刻壁画と石室の保存から」『吉田古墳 国史跡追加指定記念連続講座 吉田古墳を考える 記録集』, 「3. 泉坂下遺跡第5号墓壙土器1に伴う赤色物質の分析」『泉坂下遺跡の研究—人面付土器を伴う弥生時代中期の再葬墓群について—』(共著). Displaced cultural property from Afghanistan: conservation and a new mounting system using TWS (Triaxial Woven Fabrics) for looted wall painting fragments from Bamiyan, *Preprints for ICOM-CC 16th Triennial meeting*, Lisbon 19-23 September 2011 (共著). 「ルーマニア・ホレズ修道院の壁画彩色技術: 北の教会と東の教会の壁画に関する予備調査」『日本文化財科学会第28回大会』(ポスター発表). 「打製石器製作・使用時に応用された諸技術に関する指摘—北イラン新石器時代遺跡, タベ・サンギ・チャハマックの事例を中心に—」『日本文化財科学会第28回大会』(口頭発表). 「国指定史跡吉田古墳 (茨城県水戸市) の保存整備: 昭和47年に埋め戻された線刻のある横穴式石室の事例」『文化財保存修復学会第33回大会』(ポスター発表). Displaced cultural property from Afghanistan: conservation and a new mounting system using TWS (Triaxial Woven Fabrics) for looted wall painting fragments from Bamiyan, *ICOM-CC 16th Triennial meeting*, Lisbon 19-23 September 2011 (ポスター発表). Re-examining chronology in the Kizil Grottoes based on ^{14}C analysis and architectural style, *International Conference on Conservation and Research of Kucha Grottoes* (口頭発表). 「放射光利用によるバーミヤーン壁画研究」『SPRING-8文化財研究会第1回講演会 (SPRING-8 ワークショップ: 放射光と文化財科学)』(招待講演).

小野塚拓造 A Canaanite City State Emerging from Tel Rekhesh Excavations: Some Aspects of the Late Bronze

- Age and Early Iron Age Remains, *Perspectives from the Periphery: Galilee in the Cultural Change through Ages*, Rikkyo University, Tokyo (口頭発表). 「テル・ゼロールと海の民?—外来系要素を示す土器群に関する再検討」『第15回イスラエル考古学研究会』(口頭発表). 「エジプト新王国の南レヴァント進出とその痕跡—考古学調査の進展とエジプト式土器をめぐって」『日本オリエント学会第53回大会』(口頭発表). 「テル・レヘシユ遺跡第6次発掘調査報告」『日本オリエント学会第53回大会』(ポスター共同発表).
- 清家 大樹 「先スペイン期ペルー北部高地におけるラクダ科動物飼養について」『古代アメリカ学会第16回研究大会』(口頭発表). 「先スペイン期ペルー北部高地におけるラクダ科飼養」『パコパンバ科研「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」2011年度第1回研究会』(口頭発表).
- 鈴間 智子 「奈良県山添村所在五輪塔実測記」『元興寺文化財研究所 研究報告』2009・2010 (共著).
- 廣永 尚子 「火葬墓」『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』(共著).
- 荒 友里子 研究課題「青銅器時代における社会の複雑化—中央ユーラシア草原地帯の研究—」
- 大村 冬樹 「人物埴輪の製作技法と刷毛目による製作工人集団の同定」『日本文化財科学会第28回大会』(口頭発表). 「関東における人物埴輪製作工人に関する一考察—常陸の埴輪を中心とした分析—」『土曜考古学研究会 6月例会』(口頭発表).
- 中村真衣子 「打製石器製作・使用時に応用された諸技術に関する指摘—北イラン新石器時代遺跡, タペ・サンギ・チャハマックの事例を中心に—」『日本文化財科学会第28回大会』(口頭発表).
- 増森海笑 D. 「死者を飾るビーズ」『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』. 「装身具からみた西アジア新石器時代とテル・エル・ケルク遺跡」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』. 「装身具からみた西アジア新石器時代とテル・エル・ケルク遺跡」『日本西アジア考古学第16回総会・大会』(口頭発表).
- 飯塚 守人 「西アジアにおける後期銅器時代の封泥システム」『筑波大学先史学・考古学研究』22. 「土器を利用した埋葬」『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』. 「農耕と牧畜のはざまに—ユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落—シリア, ビシュリ山系テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の2010年度発掘調査—」『平成22年度考古学が語る古代オリエント』(共著).
- 三宅 慶 「ウルク中・後期における外傾面取口縁鉢をめぐり—一考察—」『筑波大学先史学・考古学研究』22.

平成23年度卒業論文・修士論文一覧

卒業論文 (先史学・考古学コース)

- 植木 恵 「破鏡の副葬について」
- 庄子 亮平 「常陸南部における中世方形居館の考察」
- 鈴木 志野 「6世紀後半から7世紀前半における東北地方南部の土師器製作技法について—福島県白河市舟田中道遺跡を中心に—」
- 前田 裕明 「中央アンデスにおける植物利用の変遷」
- 宮内 優子 「テル・アイン・エル・ケルク遺跡の土器新石器時代墓地からみる親族関係」
- 森川 愛美 「転用例にみる信仰の継承と変容—ギリシア~コプト時代のアクリスを中心に—」
- 宮田 大基 「志波城跡と徳丹城跡の保存・利用・復元についての問題と今後の課題」
- 山本健太郎 「地下水祭祀の系譜をたどる—伊予松山城二ノ丸の大井戸遺構を中心に—」
- 雪丸千彩子 「近代日本における採石道具に関する研究—石切り技法の視点から—」
- 大田 瑞穂 「古代エジプトにおけるミイラ制作の薬剤に関する考察」
- 大村 真吾 「我が国における水中考古学の現状と展望」
- 佐々田光毅 「京都府乙訓郡における近世墓標の考古学的考察」
- 澁谷 晃 「復元整備された古墳の活用について」

修士論文（人文社会科学研究科）

飯塚 守人 「西アジア先史社会における封泥システムの変遷—土器新石器時代から銅石器時代までの印章・印影の分析を中心に—」

三宅 慶 「北メソポタミアにおける都市化への胎動—土器からみた銅石器時代後期の社会—」